



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年1月29日

上場会社名 株式会社シモジマ

(コード番号：7482 東証第一部)

(URL <http://www.shimojima.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

(TEL:(03) 3862 8626)

下島和光

責任者役職・氏名 取締役経理本部長

谷中浩三

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
最近会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	34,077	4.0	2,444	16.9	2,640	16.5	1,352	24.2
18年3月期第3四半期	32,777	7.0	2,942	2.0	3,162	1.1	1,785	5.1
(参考)18年3月期	42,731	6.6	3,706	4.1	3,961	2.4	2,263	2.4

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	55.80			
18年3月期第3四半期	73.64			
(参考)18年3月期	91.54			

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日)におけるわが国経済は、企業業績の改善による設備投資の増加や雇用・所得環境の改善により個人消費も堅調に推移するなど緩やかな拡大が続いております。しかし、一方では原油価格の高止まりによる原材料高や長期金利の上昇懸念など、最終消費は依然不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社は経済環境の変化と「お客様のニーズ」に迅速かつ的確にお応えすることを経営理念として商品開発及び提案型営業を展開してまいりました。

営業販売部門におきましては、フランチャイズチェーン政策(「パッケージプラザ」事業)における当第3四半期末の店舗数は261店舗となりました。さらに増床を含めたりリニューアルを11店舗おこないました。スーパーバイザーによる定期的な店舗指導のほか、統一売り出し等の販売促進活動を行い店舗の活性化を図りました。またディーラールートでは、生花・園芸及び花材業界への販売が引き続き好調に推移し、更に新規販売ルートの開拓も順調に進んでおります。ユーザールートでは、提案型営業及びwebを利用したBtoBオーダーシステムなどによる新規・深耕開拓が順調に進み、取引先の拡大及び売上高の増加を達成しております。この結果、営業販売部門の当第3四半期売上高は223億77百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

直営店販売部門につきましては、浅草橋6号館では各種講習会の開催と、それら関連商材の売上が伸びております。さらに、ギフトラップ館・心齋橋店・名古屋店ではブライダル関連商品の売上が伸びております。この結果、直営店販売部門の当第3四半期売上高は116億99百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

これらの結果、全社の当第3四半期売上高は340億77百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

利益面では、海外・国内ともに化成品の原料価格が高騰を続けており、販売価格への転嫁が限定的であったことなどから、全社の売上原価率は上昇いたしました。また、販売費及び一般管理費につきましては、小口配送の拡大等により物流費が増加しております。

この結果、当第3四半期の営業利益は24億44百万円(前年同期比16.9%減)、経常利益は26億40百万円(前年同期比16.5%減)、四半期純利益は13億52百万円(前年同期比24.2%減)となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	30,331	24,256	80.0	1,000.62
18年3月期第3四半期	29,103	23,402	80.4	965.34
(参考)18年3月期	29,601	23,598	79.7	973.45

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	916	601	750	4,040
18年3月期第3四半期	661	540	561	5,455
(参考)18年3月期	2,093	1,084	561	6,324

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は次の通りであります。(金額の比較は何れも平成18年3月期末との比較であります。)

資産の部においては、流動資産が6億98百万円増加いたしました。これは田沼新倉庫増築費、本社ビル増築費、法人税、消費税等の納付等により現金及び預金が22億84百万円減少いたしました。当社取扱商品が需要期を迎え売上の増加により売掛金が15億1百万円、受取手形が3億12百万円、商品等のたな卸資産が7億6百万円、その他4億90百万円等それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は30百万円増加いたしました。有形固定資産では田沼新倉庫の竣工、馬喰町店の移転に伴う旧店舗の売却と減価償却の計上等により建物が8億65百万円、造作設備及び機械装置等1億52百万円増加し、土地が4億1百万円減少、建設仮勘定も前期末残高全額5億92百万円を建物に振替、新たに本社増築工事代金の一部1億47百万円を計上したこと等により有形固定資産全体では2億24百万円の増加となりました。投資その他の資産では投資有価証券の一部売却、子会社株式の売却、保険積立金の一部解約等により1億93百万円減少いたしました。この結果、資産全体では、前期末と比べ7億29百万円増加し、303億31百万円となりました。

負債の部においては、流動負債が3億92百万円増加いたしました。これは仕入債務の買掛金と支払手形で6億61百万円、未払金が3億99百万円増加、法人税の納付により未払法人税等が6億67百万円減少したことによるものであります。固定負債では役員退職慰労引当金が慰労金の支給により1億57百万円、再評価に係る繰延税金負債が1億40百万円それぞれ減少いたしました。この結果、負債全体では71百万円増加して、60億74百万円となりました。

純資産の部においては、利益剰余金が8億84百万円増加し、土地再評価差額金が2億6百万円減少いたしました。この結果、純資産は242億56百万円となり前期末79.7%でありました自己資本比率は、当第3四半期末では80.0%となりました。

当第3四半期における現金及び現金同等物は、前期末と比較して22億84百万円減少して40億40百万円となりました。

当期中における各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、9億16百万円減少(前第3四半期6億61百万円増加)いたしました。主な要因は、営業収入が339億52百万円、利息及び配当金の受取1億31百万円、賃貸収入とその他収入で1億78百万円の資金増加と、原材料、商品の仕入による支出で252億12百万円、販売費及び一般管理費とその他支出等で81億94百万円、法人税、消費税等17億88百万円の納付による支出等の資金流出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、6億1百万円減少(前第3四半期5億40百万円減少)いたしました。主な要因は田沼建物及び造作設備、機械装置等7億19百万円、建設仮勘定で計上いたしました本社増築工事費1億47百万円、貸付金及びその他で1億82百万円の資金流出と、固定資産の売却2億5百万円、有価証券の売却、貸付金の回収及びその他で2億42百万円の収入があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、7億50百万円減少(前第3四半期5億61百万円減少)いたしました。主な要因は、期末配当金、中間配当金の支払い等による資金流出によるものであります。

【参 考】

平成19年3月期の業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	44,580	3,523	1,867

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 77円03銭

注）9月末時点の株式数 24,241,777株で算出しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

通期業績につきましては、売上高、経常利益は平成18年11月6日発表の業績予想と変更はありませんが、当第3四半期中に特別損失（固定資産売却損）を計上したため、当期純利益を20億円から18億67百万円に下方修正しております。

[添付資料]

1 . (要約) 四半期貸借対照表

(単位 : 百万円、 %)

科 目	当四半期 (平成19年3月 期第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月 期第3四半期末)	増 減		参 考 (平成18年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産	16,608	15,887	720	4.5	15,910
現金預金	4,040	5,337	1,296	24.3	6,324
受取手形	1,113	1,170	57	4.9	801
売掛金	5,177	4,780	397	8.3	3,676
たな卸資産	5,202	3,714	1,487	40.1	4,495
繰延税金資産	199	186	13	7.2	225
その他	886	704	181	25.7	396
貸倒引当金	11	6	5	83.3	8
固定資産	13,722	13,215	507	3.8	13,691
有形固定資産	12,172	11,539	633	5.5	11,948
無形固定資産	49	52	2	4.5	49
投資その他の資産	1,499	1,623	124	7.6	1,693
繰延税金資産	127	141	13	9.6	133
その他	1,399	1,501	101	6.8	1,610
貸倒引当金	27	18	8	46.2	51
資産合計	30,331	29,103	1,227	4.2	29,601
(負債の部)					
流動負債	5,244	4,525	719	15.9	4,852
支払手形	335	347	11	3.3	256
買掛金	3,068	2,524	543	21.5	2,486
未払金	862	478	384	80.3	463
未払法人税等	447	728	281	38.6	1,115
その他	530	446	83	18.7	531
固定負債	829	1,175	345	29.4	1,150
預り敷金保証金	151	170	18	11.1	142
退職給付引当金	45	79	34	43.2	76
役員退職慰労引当金	256	408	151	37.2	413
再評価に係る繰延 税金負債	376	517	140	27.2	517
負債合計	6,074	5,700	373	6.5	6,003

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月 期第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月 期第3四半期末)	増 減		参 考 (平成18年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資本の部)					
資本金		1,405	1,405		1,405
資本剰余金		1,304	1,304		1,304
利益剰余金		26,696	26,696		26,871
土地再評価差額金		6,069	6,069		6,069
その他有価証券評価 差額金		81	81		103
自己株式		15	15		16
資本合計		23,402	23,402		23,598
(純資産の部)					
株主資本	1,405		1,405		
資本剰余金	1,304		1,304		
利益剰余金	27,756		27,756		
土地再評価差額金	6,275		6,275		
その他有価証券評価 差額金	83		83		
自己株式	17		17		
純資産合計	24,256		24,256		
負債・純資産合計	30,331	29,103	1,227	4.2	29,601

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月 期第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月 期第3四半期)	増 減		参 考 (平成18年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	34,077	32,777	1,300	4.0	42,731
売上原価	23,582	22,366	1,215	5.4	29,154
売上総利益	10,494	10,410	84	0.8	13,577
販売費及び一 般管理費	8,050	7,467	582	7.8	9,871
営業利益	2,444	2,942	498	16.9	3,706
営業外収益	317	300	16	5.6	362
営業外費用	121	80	40	50.5	106
経常利益	2,640	3,162	522	16.5	3,961
特別利益					
特別損失	244		244		1
税引前四半期 (当期)純利益	2,396	3,162	766	24.2	3,960
税金費用	1,043	1,377	333	24.2	1,697
四半期(当期) 純利益	1,352	1,785	432	24.2	2,263

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成19年3月 期第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月 期第3四半期)	参 考 (平成18年3月期)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	916	661	2,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	601	540	1,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	750	561	561
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	0	18
現金及び現金同等物の増減額	2,284	439	429
現金及び現金同等物の期首残高	6,324	5,895	5,895
現金及び現金同等物の期末残高	4,040	5,455	6,324